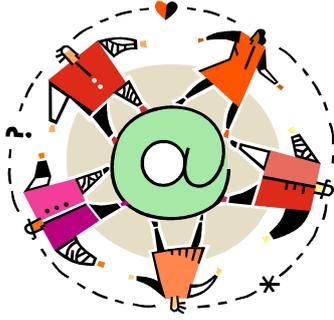


NAGANO ピアサポだより



第9号

発行年月日：2015年1月15日(木)

発行：長野県ピアサポートネットワーク

事務局：長野県長野市若里7-1-7

長野県社会福祉総合センター2階 NPO 法人ポプラの会事務局内

発行責任者：代表 大堀尚美

Tel: 026-228-3344 Fax: 026-224-3777

アドレス：nagano.peer-support@kind.ocn.ne.jp

新年のごあいさつ

代表 大堀 尚美

皆さま 明けましておめでとうございます。

昨年は長野県障がい者支え合い活動支援事業を受託することが出来、当事者同士の支え合い（ピアサポート）が当事者会により制度的に保証され推進されることとなりました。とても有難いことと感謝しておりますし、大変嬉しいことです。私たちが周りの方々にも支えられながら、その思いや力を発揮し、ピアサポートが一層推進されることと思います。私自身もくじけそうになることもあるかもしれませんが、けれど仲間と支え合いながら、理解して支えてくれる方々と進んでいかれますようにと強く願っております。

皆さまと共にこれからもピアサポートの輪を広げてまいりたいと存じます。本年もよろしくお願い申し上げます。

平成26年度ピアサポート研修 開催される

去る平成26年12月7日(日)、松本市総合社会福祉センターにおいて、長野県ピアサポートネットワーク主催の「ピアサポート研修」が開催されました。長野県ピアサポートネットワークが県から受託した「障がい者支え合い活動支援事業」の一環として、せいしれんととの共催、長野県精神保健福祉センターからのご後援をいただき開催された研修です。「ピア」に対する関心が高まる中、80名を超えるご出席をいただき、盛況のうちに終了しました。

第一部では、聖学院大学教授 相川章子先生をお招きし、『当事者支援員（ピアサポーター）の力、そして協働』との演題で、ご講演を頂きました。先生がおっしゃった「その人の可能性を信じようとする心が大事」というお言葉が、とても心にしみました。ピアサポートの場面だけでなく、障がいがあるとなかろうと、人として共に誰かと生きるとき、「信じる」ことや「信じようとする」ことが大切なのだ痛感しました。

第二部は、シンポジスト4名（当事者3名、支援者1名）と、引き続き相川先生にコーディネーターをお願いして、『ピアって何だろう』とのテーマでシンポジウムを行いました。シンポジストの方々が、ご自分の体験を踏まえて、前を見据えた明確なメッセージを発して下さったことが印象的でした。さらに第三部として、グループに分かれてグループワークを行いました。当事者・支援者・家族などそれぞれのお立場から活発な意見が交わされました。第二部・第三部と、当事者のリカバリー（回復、特に自分が求める生き方を主体的に追求すること）の体験と願いを聴きあったことで、互いに共感を深め、またこれからの毎日への希望を分かち合いました。

最後に「これまで当事者・支援者・家族と一緒に意見交換をしたことがなかった。こういう場がとても大切だと気づいた。」とのお声があり、この会を企画した甲斐があったと大変嬉しく思いました。6時間にわたる長丁場の研修でしたが、終了後清々しい思いに心が満たされ、思い出深い一日となりました。今後こうした学びの場を大切にしていきたいと思えます。



シンポジストの皆さん



相川章子先生



全員で記念写真

【アンケートより】

◎当事者の方から

- ・当事者会設立に向けて、少し勇気が出た。当事者会の必要性を痛いほど感じながら、一歩が出ないのはなぜかをよく考えたいと思った。今日のお話の中にヒントがあったように思う。(p.2 へ続く)